



愛知長久手ロータリークラブ

2012~2013

WEEKLY



例会日=毎週火曜日 PM12:30 例会場=長久手市まちづくりセンター
会長 安田茂樹 幹事 小谷恒夫 会報 吉田濱一
Email : a.nagakuterc@aurora.ocn.ne.jp

事務局 TEL:0561-64-5446
FAX:0561-64-5459



本日 第 473 回 例会 2012 年 9 月 18 日 (火 曜 日) 第 466 号

新入会員歓迎会・親睦夜間例会

<本日のプログラム> Today's Program

点鐘

<ロータリーソング>

於 : 和食・寿司処 五一
19:00~

前 回 第 472 回 例会 2012 年 9 月 11 日 (火 曜 日) 記 録

<ロータリーソング> 「我らの生業」
「四つのテスト」唱和

総合司会 加藤 猛 会場設営委員長

<出席報告>

会員総数 21名 (免除会員1名)
出席者 16名 出席率 80.00% 前々回補正出席率 95.4%



ハンバーグ
サラダ
ライス

<来訪者>

ビジター: 川村智康様(名古屋名北ロータリークラブ)

<会長挨拶>

愛知長久手ロータリークラブ 安田 茂樹会長



皆さんこんにちは。今日は先回の続きを皆さんにお話ししたいと思います。先回は日本のロータリーの歴史を少し紹介しました。1938年ぐらいの事でした。その後第2次世界大戦が勃発して、ロータリーはどうなったかと言う事をお話いたします。

1925年(大正14)は、京都にロータリークラブが創設された年でした。日本で5番目のクラブ、9月のことでした。この年はまた、治安維持法が公布された年でもありました。第1次世界大戦後、普通選挙を成立させたものの、政府はいつさいの反体制運動の抑圧をねらって、思想・結社・運動の自由をはく奪し、国の方向に立ちだかるもの、あるいは変革しようとするものをことごとく排除しはじめていました。世界各国のロータリークラブも日本のロータリークラブも、解散を余儀なくされた背景に第2次世界大戦があることは明らかですが、ほかにも共通して曲解に利用された次のような2点のこじつけがありました。1、ロータリークラブはアメリカに本部をもっており、それぞれがスパイ活動をおこなっている。2、ロータリークラブの実態は、フリーメーソンである。海外でも日本でも、ロータリークラブはたしかに最初、『手続要覧』も英語、ロータリーソングも英語、例会での会話も英語でした。英語の読み書きができない人は、クラブをやめざるを得ないということもありました。入会資格も、一業種一会員の決まりがあり、社会的、人格的に優れた人間と認められて推薦されなければ会員になれません。特殊な用語も使います。そんなところが、外面的に秘密主義、結社的にみえたのでしょう。

1928年(昭和3)10月、東京で開催された太平洋ロータリー大会のとき、それまで英語で歌っていたロータリーソングも日本語で歌おうということになりました。そして、広く日本じゅうから募集し、1935年(昭和10)の京都地区大会でその入選作四編が発表されました。そのなかの『奉仕の理想』や『我等の生業』は“ロータリーの君が代”など、いまでも歌いつづけられています。

京都ではそのころ、岡崎公会堂で右傾団体の京都支部の結成式があって、その席上で「ロータリー排撃」の決議がなされていましたが、「例会で日の丸を掲揚し、君が代を歌うこと」で話し合いがつけました。京都クラブはさっそくこのことを日本じゅうのロータリークラブに連絡し、以後、日本のすべてのロータリークラブは日の丸を掲揚し、君が代を歌うことになりました。このことは現在にまで継続されています。

このようにロータリーが生き残るためにいろいろ工夫されて今の形になっています。今日はここまでで、次回続きをご紹介します。

<委員会報告>

◆ニコボックス委員会

松原正敏親睦活動委員

- ・メーキャップよろしくお願いします。
- ・久しぶりの雨となりました。林さん本日の卓話よろしくお願いします。本日もよろしくお願いします。
- ・今日もよろしくお願いします。次回夜間例会ありがとうございます。
- ・本日もよろしくお願いします。林正俊さん卓話楽しみにしています。
- ・本日もよろしくお願いします。林さん卓話楽しみです。大島家の財政事情は大変です。河村さんようこそ!!
- ・林 正俊さん卓話お願いします。本日もよろしくお願いします。
- ・本日もどうぞよろしくお願いします。
- ・本日もよろしくお願い致します。本日の卓話、林さん卓話楽しみにしています。
- ・本日もよろしくお願い致します。
- ・林さんの卓話を楽しみにしています。本日もよろしくお願いします。
- ・お久しぶりにお会いします。本日もよろしくお願いします。
- ・本日もよろしくお願いします。
- ・林 正俊さん、卓話「日本の財政事情について」を楽しみにしております。本日もよろしくお願い致します。
- ・林さん卓話楽しみにしています。台風が近づいています。気を付けてください。本日もよろしくお願いします。
- ・本日の卓話 林さん楽しみにしております。本日もよろしくお願い致します。
- ・本日もよろしくお願いします。
- ・本日もよろしくお願いします。

名古屋名北RC

川村 智康

安田 茂樹

赤塚 一三

伊藤 広治

大島 昭夫

加藤 猛

佐藤 文昭

白石政二郎

田中 信子

中川 清子

丹羽 司一

林 正俊

松原 正敏

宮下智香子

山田 文明

吉田 濱一

小谷 恒夫

(敬称略)

“ モデルの子 スマイルモード 合コンだ ”

<幹事報告>

小谷恒夫幹事

1) 役員・理事会報告

①クラブ細則見直しについて……検討

②地区大会全員登録について……了承

③職場例会・家族例会について……クラブ奉仕委員会より後日案内

④8月度会計報告 ……承認

⑤被災者高校生支援について……1年払い3回 担当:安田茂樹会長(3年間継続)

⑥事務局傷害保険満期について……継続承認

2) 次週例会: 新会員歓迎会及び親睦夜間例会8月18日(火) 19:00~「五一寿司」

3) 9月16日(日) RLI2760分科会研修パートⅠ 9:30~星城大学リハビリテーション学院

出席者:山田文明会長エレクト

4) 配布物: ロータリーの友9月号

<卓話> 演題 : 日本の財政事情について

講師 : 林 正俊さん

先月の国会において、どたばた劇の末、税と社会保障の一体改革の一環で消費税の引き上げが決定されたが、いったい日本の財政の現状はどうなっているのだろうかと思い少し調べてみました。

平成24年度一般会計の収入は約90兆円であるが、このうち税収は約42兆円(47%)、国の借金である国債収入は約44兆円(49%)と税収より借金(国債)が多いという現状である。

また、支出は収入と同じ約90兆円であるが、支出の多い順にみると、①社会保障関係費約26兆円(29%)、②借金を返すための経費である国債費約22兆円(24%)、③地方公共団体への税源の再配分を行う地方交付税交付金約16兆円(18%)となっており、この三者だけで約65兆円(72%)と税収を大きくオーバーしてしまっている。②及び③は義務的経費でありカットすることができない経費とされていることから、現実的には有りえないが、教育関係費、防衛費、経済対策費等他の全ての経費をカットしても収支が均衡しないという大変異常な状態である。時代に合わなくなった支出を削ることは当然であるが、それだけではどうにもならない状態であることがよく分かる。この収入と支出のギャップは、今に始まったことではなく平成バブルが崩壊した平成2年以降拡大し続けており、国債残高は一般会計税収の約17年分に相当する約709兆円にも達している。この結果、日本の財務残高(GDP比219%)は昨今話題となっている欧州財務危機の震源地の一つでもあるイタリアの債務残高(GDP比128%)に比しても大幅に悪化した水準となっている。国際は基本的には60年かけて全てを返済する仕組みとなっていることから、今年に借金したものの大部分は子供達はもちろん未だ見ぬ将来の子孫に返済の義務を負わせているという事を現在の人々は自覚する必要がある。さらに、今の日本(2912年)は、総人口1億3千万人のうち65歳以上31百万人(24%)、19歳以下の23百万人(18%)で少子高齢化社会と言われているが、今後はさらに少子高齢化が急速に進み、四十年後(2050年)には、総



人口が97百万人となり、そのうち65歳以上は38百万人(39%)と7百万人が増加するのに対し、19歳以下は13百万人(13%)と1千万人減少すると推測されている。また、働く世代の人口は74百万人(58%)から46百万人(49%)と28百万人減少すると推計されており、超少子高齢化社会が到来する予測となっている。一方、日本経済は平成5年以降デフレ経済でゼロパーセント成長を余儀なくされているが、財政の健全化を進めるとともに経済成長を高めて活力ある社会を実現していかなければ、来るべき超少子高齢化社会を乗り越えていく事はできない。先延ばしをしている間に解決できる問題であればいいのですが、そうでないのであれば、先延ばしをすればするほど後の対策は痛みが大きくなるのではないのでしょうか。「あれかこれか」あるいは「あれが先かこれが先か」ではなく、今の日本には「あれもこれも」必要なのではないかと思います。

★ ハイライトよねやま 150号 ★ 2012年9月12日発行

:: 今月のトピックス ::

1. 寄付金速報 — 米山月間に向けて、好調な滑り出し —

2. 理事会・評議員会開催報告

3. 韓国の学友から10万円の寄付

4. いよいよ10月は米山月間！ — 資料のご案内 —

<締め切り間近！> 第4回中国学友会総会のご案内

《今月のピックアップ記事》

3. 韓国の学友から10万円の寄付

韓国ソウル市在住の米山学友、李キョンヨプさん(1996-97/金沢RC)から先月、米山記念奨学会に10万円のご寄付を頂きました。李さんは母国に帰国後、剣道具の製造販売会社を設立し、「剣道名家」ブランドで全日本選手権優勝者など日本や世界各国に顧客を抱えています。また、2010年からは韓国米山学友会の監事に就任。2011年10月にはホームカミング制度で来日し、第2610地区のロータリアンとの旧交を温めました。「いつも心に米山奨学生の誇りを刻んでいる」と語る李さんは、今回のご寄付について、次のようなメッセージを寄せてくださいました。

「帰国前、世話クラブが開いてくださった歓送パーティーで、私は「いつかは奨学金を与える立場になって、恩返ししたい」と、お話ししました。以来、自分にできる範囲で社会奉仕活動に励んできましたが、今年から少しずつでも米山記念奨学会への寄付を始めることにしました。「お父さん」と呼ばせていただいている金沢RCの渡辺次男さんをはじめ、ロータリーのご縁で出会うことができた素晴らしいロータリアンの皆さんとの友情や人間関係も、奨学会への寄付と同じように、一生続けられるように最善を尽くします」

その他の記事は、ぜひPDF版をご覧ください。

→ http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight150_pdf.pdf



9月25日(火)	10月2日(火)	10月9日(火)	10月21日(日)
卓話担当: 吉田濱一さん (トヨタ博物館)	卓話担当: 中川清子さん (トヨタ博物館)	卓話担当: 富田盛義さん (長久手温泉)	10月16日(火)振替 職場例会